

2019年度

事業計画書

一般財団法人

東京都高等学校野球連盟

(1) 高等学校野球の普及、振興、指導および監督

- ①常務理事会、理事会においての事業推進のため2月、4月、5月、8月、11月、12月に定期的開催予定。評議員会を2月開催予定。硬式部・軟式部連絡会議（適宜開催）
- ②高等学校野球の振興策として中学生の体験入部の取り扱い規定の周知徹底を図り、中体連との協力・連携をする。
- ③偵察等を目的とするフェアプレーに反する行為について徹底し、理解を深める。ほぼ徹底はできているが継続的経過を観察する。
- ④加盟校の指導者ならびに部員の不祥事の根絶に努める。（重点指導事項 指導者の体罰・部内暴力）
- ⑤ホームページにおける情報公開の充実を図る。
- ⑥責任教師会議において、本連盟の運営等について理解を深め協力を図る。  
期日：5月25日（土）  
会場：青山学院 PS 講堂予定
- (1) 指導者ならび部員への不祥事の根絶についての指導
- (2) 部員登録締切り【追加登録日6月7日（金）】
- (3) 第101回全国高等学校野球選手権大会について
- ⑦指導者研修会の開催により高校野球への理解を深め資質・技術の向上に努める。
- ⑧大会を担う審判員の育成と技術の向上に努める。審判員増員への呼びかけに理解を深める。
- ⑨野球振興事業の推進  
特に高校野球200年構想の主旨を今一度吟味し、子供向け「Tボール」教室の実践にあたり、明確なビジョンと評価を求めて執り行いたい。予算化する事業ゆえに丁寧に遂行し、野球底辺拡大となるような事業の展開を目指す。
- ⑩加盟校への還元事業を行う。

(2) 高等学校野球大会ならびに試合の開催及び協力

年度内に次の通り諸野球大会を当連盟の主催または新聞社の協力で開催する。

① 平成31年度春季東京都高等学校野球大会

一次予選 期 日：3月16日（土）から5日間

会 場：24ブロック校

参加校：最大210校

本大会 期 日：4月1日（月）から14日間 決勝28日（日）

会 場：神宮第二球場 他

参加校：112校

② 第101回全国高等学校野球選手権大会 東・西東京大会

期 日：7月6日（土）14：30開会式

7月6日（土）～23日間

決勝 東27日（土）西28日（日）

会 場：神宮球場 他

参加校：273校

③ 2019年度秋季東京都高等学校野球大会

一次予選 期 日：9月7日（土）から8日間

会 場：24ブロック校

参加校：273校

本大会 期 日：10月12日（土）から11日間

決勝11月10日（日）

準決勝・決勝は神宮球場使用予定

会 場：神宮・神宮第二球場 他

参加校：64校

(3) 高等学校野球の記録・調査・研究

指導者研修会における講師の依頼

現時点では講師を検討中

(4) 高等学校野球選手、部員などのスポーツ障害予防・健康増進

医師、看護師、理学療法士による、水分補給方法、熱中症予防、試合中における選手のケアなどの指導実施。継続的に安全対策に注意を払う。

(5) 高等学校野球に関する講習会・研究会の開催

審判講習会

平成31年度東京都高等学校野球連盟会場校学生審判講習会

期 日：2月24日（日）

会 場：創価高等学校グラウンド予定

平成31年度春季東京都高等学校野球大会審判講習会

期 日：3月3日（日）

会 場：堀越高等学校グラウンド

第101回全国高等学校野球選手権大会東西東京大会審判講習会

期 日：6月16日（日）

会 場：堀越高等学校グラウンド

2019年度秋季東京都高等学校野球大会審判講習会

期 日：9月1日（日）

会 場：堀越高等学校グラウンド

記録員・アナウンス研修会

期 日：6月22日（土）

会 場：渋谷アットビジネスセンター

指導者研修会

期 日：12月7日（土）

会 場：海城高等学校

(6) 野球を通じた国際交流、国際相互理解の推進

今年度は海外遠征試合の計画はなし。東南アジア支援は実施予定。2018年にインドネシアスポーツ省と野球振興についての業務提携を依頼されており、これを本連盟としては承諾した。本年は覚書を含めて再度内容を詰める。2020年には、前回の約束に準じて指導者の現地派遣を予定している。第1回目ということで少人数（10名以内）での渡航を原則としてアジアの野球振興に寄与したい。同時に支援物資の寄付もできる限り行い、両国にとって今後実りのある業務提携の第一歩となることを目指す。

(7) 高等学校野球に関する関係諸団体との協力・提携

東京都中体連、関東地区高野連、全国九地区高野連ならびに日本高野連と密接な協力・提携を行う。

(8) その他この法人の目的達成に必要な事項

必要に応じて事業を行う。

軟式部の2019年度の事業計画は、平成30年度の日程とほぼ同じ。